センナ末

確認試験(2)の項を次のように改める.

確認試験

（２） 本品2 gにテトラヒドロフラン／水混液(7：3) 40 mLを加え，30分間振り混ぜた後，遠心分離する．上澄液を分液漏斗に移し，塩化ナトリウム13 gを加え，30分間振り混ぜる．分離した水層を不溶の塩化ナトリウムと共に分取し，1 mol/L塩酸試液を加えてpH 1.5に調整する．この液を別の分液漏斗に移し，テトラヒドロフラン30 mLを加えて10分間振り混ぜた後，分離したテトラヒドロフラン層を分取し，試料溶液とする．別に薄層クロマトグラフィー用センノシドA 1 mgをテトラヒドロフラン／水混液(7：3) 1 mLに溶かし，標準溶液とする．これらの液につき，薄層クロマトグラフィー〈*2.03*〉により試験を行う．試料溶液及び標準溶液10 μLずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする．次に1－プロパノール／酢酸エチル／水／酢酸(100)混液(40：40：30：1)を展開溶媒として約7 cm展開した後，薄層板を風乾する．これに紫外線(主波長365 nm)を照射するとき，試料溶液から得た数個のスポットのうち1個のスポットは，標準溶液から得た赤色の蛍光を発するスポットと色調及びR_f値が等しい．